

お知らせ

INFORMATION

No.2021-08

2021 年 3 月

病体生理研究所

検査内容変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目において検査内容の変更の御案内をさせていただきます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更項目】

検査案内頁	コード	検査項目
P.6	13054	リポ蛋白 (a) (LP(a))
P.8	11931	アポリポ蛋白 A I
P.8	11933	アポリポ蛋白 B
P.8	11935	アポリポ蛋白 E
P.37	10069	サイロイドテスト
P.37	10295	マイクロゾームテスト
P.52	14222	(尿中) I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)
P.67	10077	寒冷凝集反応

※詳しくは中面をご参照下さい。

【中止項目】

検査案内頁	検査項目
P.8	アポリポ蛋白 B/A I 比
P.8	アポリポ蛋白 E/(TG+T-cho)

※アポリポ蛋白検査実施先変更の為、ご報告中止となります。

《変更日》 2021 年 3 月 29 日 (月) 受付分より

【変更内容】

検査項目 [コード] 検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
リポ蛋白 (a) (LP(a)) [13054] P.6 B	検査実施先	SRL	病体生理研究所	検査実施先変更のため 基準値、検査方法 等の変更はありません。
	所要日数	3～6日	2～3日	
アポリポ蛋白A I [11931] P.8 B アポリポ蛋白B [11933] P.8 B アポリポ蛋白E [11935] P.8 B	検査実施先	SRL	病体生理研究所	検査実施先変更のため 基準値等の変更は ありません。
	所要日数	3～6日	2～3日	
	検査方法 表記	免疫比濁法	TIA	
	検査実施先変更に伴い、 B/A I 比、E/(TG+T-cho)の ご報告は無くなります。			
サイロイドテスト [10069] P.37 B	検査実施先	LSIメディエンス	病体生理研究所	検査実施先変更のため 基準値・検査方法 等の変更はありません。
	所要日数	3～5日	2～3日	
マイクロゾームテスト [10295] P.37 B	検査実施先	LSIメディエンス	病体生理研究所	検査実施先変更のため 基準値・検査方法 等の変更はありません。
	所要日数	3～5日	2～3日	
(尿中) I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx) [14222] P.52 M	検査方法	CLEIA	EIA	測定試薬変更のため ※ 骨粗鬆症、腫瘍 関連の基準値を別に 設定致します。
	保存安定性	冷蔵 (5日)	冷蔵	
	基準値	本お知らせ 最終頁参照 ※		
寒冷凝集反応 [10077] P.67 B	検査実施先	LSIメディエンス	病体生理研究所	検査実施先変更のため
	所要日数	4～7日	2～3日	
	検査方法 表記	赤血球凝集反応	HA	

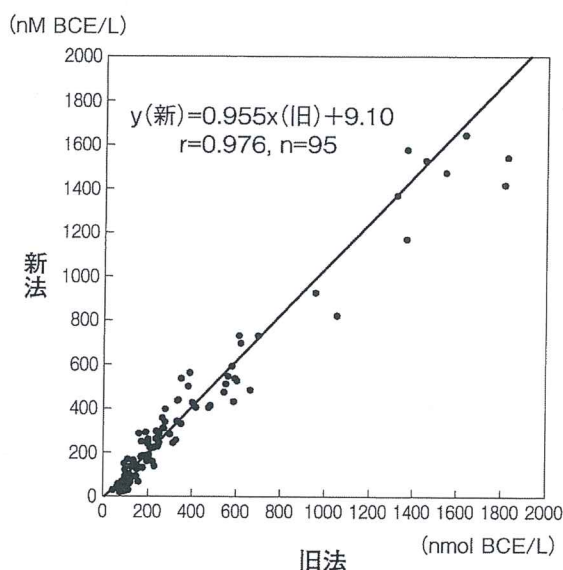
【尿中 I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)】

尿中 NTx[骨粗鬆症]の検査方法を別メーカーが販売する CLEIA 法試薬に変更いたします。

新旧二法の相関は良好ですが、基準値は骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド 2018 年版に準拠し、以下に変更いたします。また、腫瘍関連検査として、新たに基準値を設定しなおし、骨粗鬆症、腫瘍関連の基準値を別に設定致します。

なお、検体の保存安定性について、冷蔵 4 週から冷蔵 5 日間に変更いたします。

【新法と旧法の相関】(CRE 補正前)



(LSI メディエンス社内検討データ)

【骨粗鬆症 正常参考値】

従来の基準値は、日本骨粗鬆症学会：Osteoporosis. Japan 12:191, 2004. と福永仁夫，他：Osteoporosis. Japan 9:265, 2001. に記載されている正常参考値「性別・年齢別・閉経有無」をご案内していましたが、最新のガイドライン「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド 2018 年版」に準拠し、性別・閉経有無に変更（年齢別を削除）いたしますが、値の変更はございません。

骨粗鬆症 正常参考値*1 (単位：nmol BCE/mmol Cre) *2			
閉経前女性	閉経後女性	男性	判定基準
9.3～54.3	14.3～89.0	13.0～66.2	(設定なし)

*1：正常参考値は、“mean±1.96SD”に基づく上・下限値として表示。

*2：報告書上の単位表記は、nM.BCE/mM.Cre でご報告いたします。

【腫瘍関連検査 基準値】

腫瘍関連検査 基準値 (単位：nmol BCE/mmol Cre) *1		
骨吸収亢進の指標	副甲状腺摘出術の適応	悪性腫瘍の骨転移の指標
55 以上	200 以上	100 以上

*1：報告書上の単位表記は、nM.BCE/mM.Cre でご報告いたします。